

年頭の挨拶

昨年は公明党市議団が大変お世話になり衷心より感謝致します。

皆様におかれましては、輝かしき新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

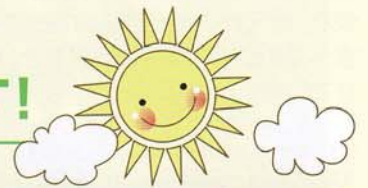
生活現場主義を貫く私たち公明党は、生活者を守るために本年もネットワーク政党の強さを発揮し、皆様の「声」にスピーディーにお応えして参ります。公明党市議団は、都や国と連動して実施しなければならぬ施策や、福祉・教育・環境等の今日的な課題を「予算要望書」として提出しました(写真右)。

調布市は「京王線の立体交差事業」の完成に向け、新たな街へと生まれ変わる“助走”の時期を迎えています。公明党市議団は新しい街づくりに力強く取り組んで参ります。そして、どこまでも“大衆とともに”との立党精神を胸に全員一丸となり頑張って参ります。本年も何卒宜しく願い申し上げます。



福祉・教育・環境等の今日的な課題を「予算要望書」として提出する公明党市議団

公明党は皆さんの「声」をカタチにしています!



この4月からの 都市再生機構 (UR) 家賃引上げ凍結

昨年の12月2日、URは3年に一度行なっている住宅家賃の値上げを当分の間見送ると発表されました。

景気が急速に悪化し、物価高騰が続くなか、家賃の引上げについては、高齢化が進む居住者から不安の声が寄せられ、また、政府・与党が発表した「新経済対策」が、国民生活を守る方針に逆行しかねないとして、11月に公明党の太田代表が、国土交通相・URに家賃引上げの凍結を強く求めていたものがあります。それにより、多くの居住者からの喜びの声が寄せられています。



仙川保育園民営化計画の陳情審査



12月議会の厚生委員会では、仙川保育園の父母の会から陳情(109名署名)が寄せられ、民営化計画に関する積極的な論議がされました。

委員会は、民営化への経緯、その内容、保護者の懸念材料など質疑し、今後は関係者との協議の推移を見ながら継続審査になりました。

これまで、公営保育園においては、運営コストが高い割には、土日祝日や夜間に利用しづらく、多様な保育ニーズにできていないと言われ、民営化の論議がそのなかから始まりました。調布市公明党は「民間で出来ることは民間で」という考えから、緊急課題である待機児解消のための受け入れ枠の拡大や、幅広い保育サービスの充実が図られるのであれば、と民営化を主張してきました。次回の審査までの間、多くの方々の声をいただき、取り組んで参ります。

